審査員からのコメント

共存型稲作の検討と有機農業普及への活動
～田んぼの嫌われ者、ジャンボタニシで無農薬に挑戦～

本作品は、共存型の無農薬稲作に焦点を当て、日本における農薬の使用実態とジャンボタニシを用いた無農薬稲作の実用性について検討した。また、農家へのインタビューや学内アンケートを実施し、ジャンボタニシ無農薬稲作への意識を明らかにした上で、ソーシャルメディアを活用して有機栽培などの知識を発信したものである。しかし、理論的には、ジャンボタニシを用いた無農薬稲作の共存仕組みや有機栽培と無農薬栽培の概念の混在についてはまだ検討する必要がある。いずれにしても、全体的には高校生として意識課題を確定し、それに基づいて着実に進行できる実行力が評価される。この活動によって地域への貢献が期待される。